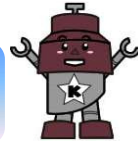


大規模盛土造成地マップ



大規模盛土造成地マップは、大規模に盛土造成された土地がお住まいの近くに存在するかどうかを知っていただくためのマップです。

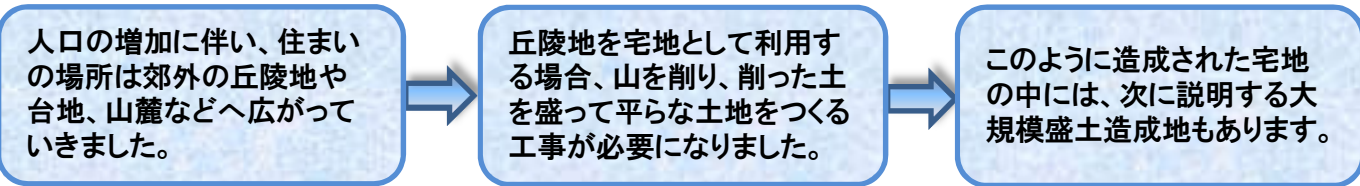
はじめに

平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟中越地震などの大地震時により、大規模に盛土造成された宅地にて滑動崩落現象による災害が発生しました。このような背景から、平成18年に国において、宅地等の安全性を確保することを目的として宅地造成等規制法の一部改正が行われ「宅地耐震化推進事業」が創設されました。

大規模盛土造成地マップの公表は、大規模盛土造成地のおおむねの位置と規模の公表を行うことによって、宅地所有者等に対して身近な大規模盛土造成地の存在を知っていただくとともに、防災意識を高めていただくことが主な目的です。公表した大規模盛土造成地は、造成前・造成後の地形図からおおむねの位置と規模を抽出したものであり、地震時に滑動崩落する場所を示したものではありません。

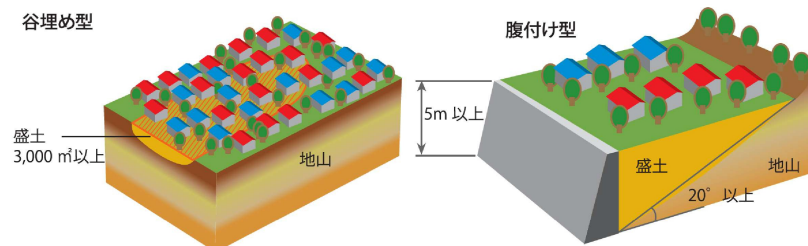
大規模盛土造成地とは

なぜ大規模な盛土造成地はつくられたか(国土交通省「我が家の宅地安全マニュアル」より)
日本の国土は、平地の面積が国土全体の約3割となっており、国土の大半が山地となっています。高度経済成長などによって都市部での人口増加に伴い、宅地利用のできる平地が不足していき、次第に丘陵地や台地、山麓などでの土地利用を考え、宅地などとして利用できるように造成行為を行うケースが増えていきました。その中で「大規模盛土造成地」といわれる造成地も増えていきました。



◆大規模盛土造成地は「谷埋め型」と「腹付け型」といわれる2種類の定義があります。

- (1)谷埋め型・・・盛土部分の面積が3,000㎡以上のもの
- (2)腹付け型・・・盛土前の地山の傾斜が20度以上の斜面で、盛土の高さが5m以上のもの



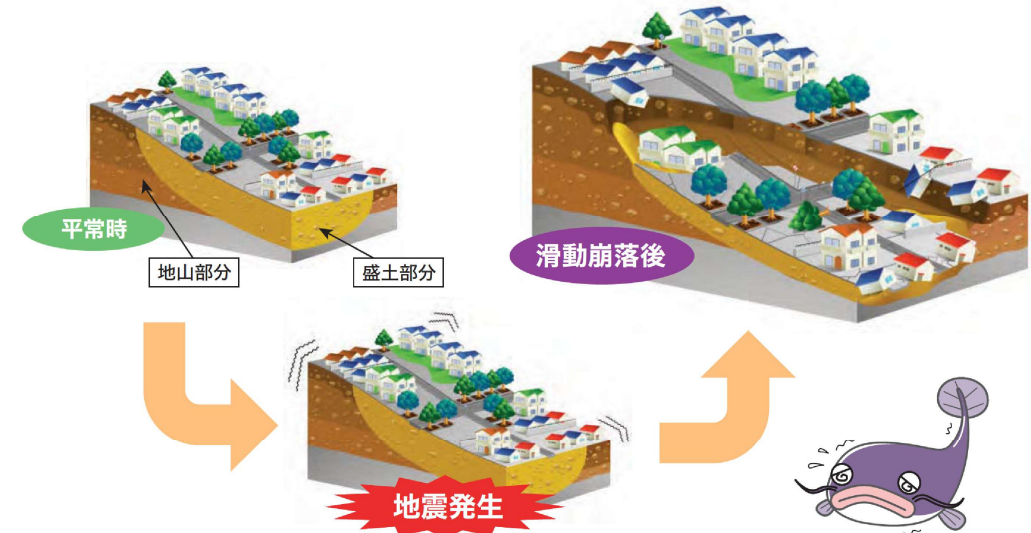
盛土の面積が3,000㎡以上の土地

盛土をする前の地山の傾斜が20°以上の急な傾斜で、高さ5m以上の盛土を行った土地

国土交通省「我が家の宅地安全マニュアル」より

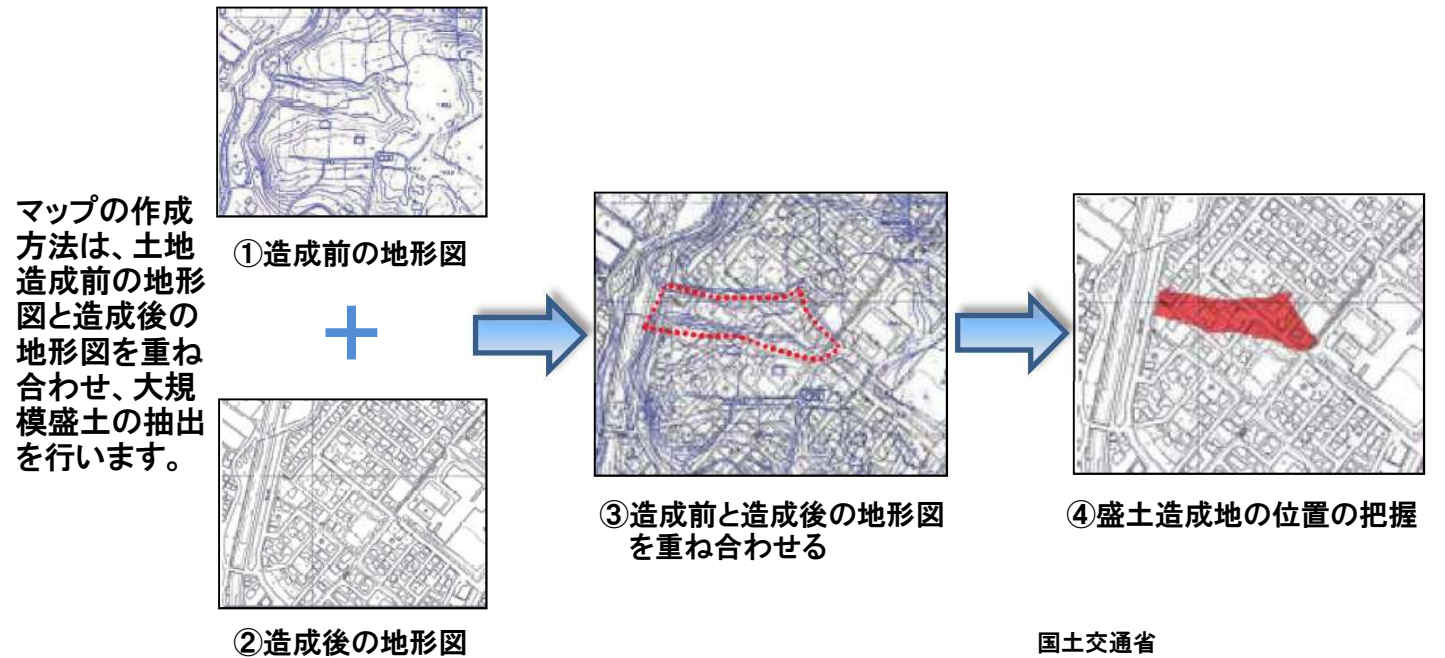
◆ 滑動崩落とは

滑動崩落とは、地震時に盛土造成地において、盛土全体または大部分が主に盛土底面部を滑り面として造成前の地山に沿って流動、変動又は斜面方向へ移動することです。
川口市の盛土の地質は主に粘性土(ローム層)となっており、市内の大規模盛土造成地については、地震時における滑動崩落の可能性は低いものと考えております。



国土交通省「宅地耐震化の取組に関するパンフレット」より

◆ 大規模盛土造成地マップ作成について



国土交通省「我が家の宅地安全マニュアル」より

宅地耐震化推進事業に関するホームページ

- ◇国土交通省 宅地防災トップページ
- ◇国土交通省 宅地防災パンフレット等

<http://www.mlit.go.jp/crd/web/index.html>
<http://www.mlit.go.jp/crd/pamphlet.html>



【お問い合わせ先】

川口市都市計画部開発審査課 川口市三ツ和1丁目14番3号 TEL : 048-242-6348(直通)